3つの有効成分が雑草の生育をブロック。幅広い適期、草種に使用できる中期除草剤。

水稲用中期除草剤
「オシオキMX1キロ粒剤」

「オシオキMX1キロ粒剤」は、平成24年9月26日に登録を取得した水稲用中期除草剤です。幅広い適期で使用できる上、安定した効果を発揮します。

概要

「オシオキMX1キロ粒剤」は、シンジェンタ・ジャパン(株)が開発した「ピリフタリド」、「メソトリオン」とデュポン(株)が開発した「アジムスルフロン」を含有する中期除草剤です。三井化学アグロでは、既存の中期除草剤が抱えていたいくつかの問題を解決すべく研究し、これらの成分・含量にたどり着きました。先述の成分を混合することにより、幅広い適期で使用でき、かつ安定した効果を発揮する中期除草剤が開発されました。

特長

本製品の特長は次の通りです。

○移植後20日から使用できます。

○4葉期のヒエに対しても安定した効果を示します。

○多年生のカヤツリグサ科雑草や難防除雑草に高い効果を示します。

○SU抵抗性を獲得した雑草(ホタルイ・アゼナ・コナギ等)に対しても効果が期待できます。

各有効成分の特長と効果

《アジムスルフロン》

デュポン社によって開発されたスルホニルウレア系除草剤です。根部、茎部および茎葉部から吸収され、雑草の細胞分裂を阻害することで生育を速やかに停止させます。幅広い雑草に対して効果を発揮します(表1)。

《ピリフタリド》

シンジェンタ社によって開発されたピリミジニルカルボキシ系除草剤です。主に根部から吸収されて、タンパク質の合成を阻害することで生育を抑制し枯死させます。

《メソトリオン》

シンジェンタ社によって開発されたトリケトン系除草剤です。幼芽部および茎葉部から吸収されて、4-HPPDを阻害することで葉緑素の合成を阻害します。これによって白化症状を発現させて枯死に至ります。ただし、処理後抽出する葉には顕著に白化症状が見られますが、処理前に抽出していた葉には白化症状は見られません。

上手な使い方

本剤はノビエの4葉期に対しても効果の高い剤です。しかし、中期剤の使用時期を考えますと、早めに散布していただいた方が、より確実な効果が期待されます(図2)。

また、特長でも触れましたが、SU抵抗性を獲得した雑草(ホタルイ・アゼナ・コナギ等)に対しても効果が期待されます(図3)。

多年生のカヤツリグサ科の雑草や難防除雑草にも効果を発揮しますが、生育段階によって効果にブレが出ますので、必ず適期に散布するように注意してください。

○ヘラオモダカ・・・4葉期まで
○ウリカワ・・・3葉期まで
○ヒルムシロ・・・生育期まで

本剤をご使用になる前には、必ずラベルを確認してください。

■表1　雑草スペクトラム

有効成分＼雑草名	ノビエ	カヤツリグサ	コナギ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ
アジムスルフロン	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ピリフタリド	◎	○	×	○	○	△	○	○	×	−	−
メソトリオン	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	−	−

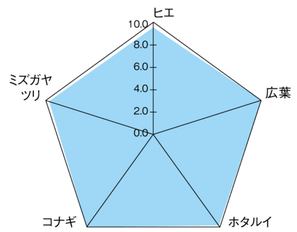
除草効果　◎：極大　○：大　△：中　×：小

■図1　除草効果試験（試験場所：三井化学アグロ農業化学研究所〈野洲〉）

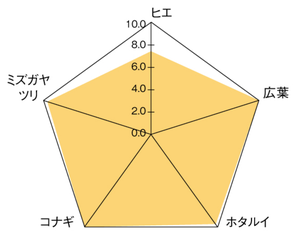
試験内容…3.5葉期処理での効果確認

【耕種概要】
代掻：2010/5/7
移植：2010/5/10
処理：2010/5/28
調査：2010/6/30

【処理時葉齢】
タイヌビエ：3.5L
広葉：本葉1対
コナギ：2-2.5L
イヌホタルイ：2.5-3L
ミズガヤツリ：30cm



オシオキ MX



A 剤

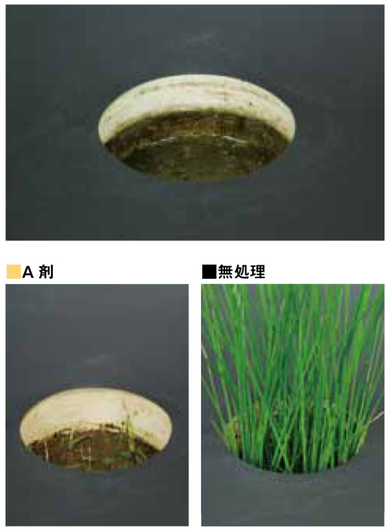
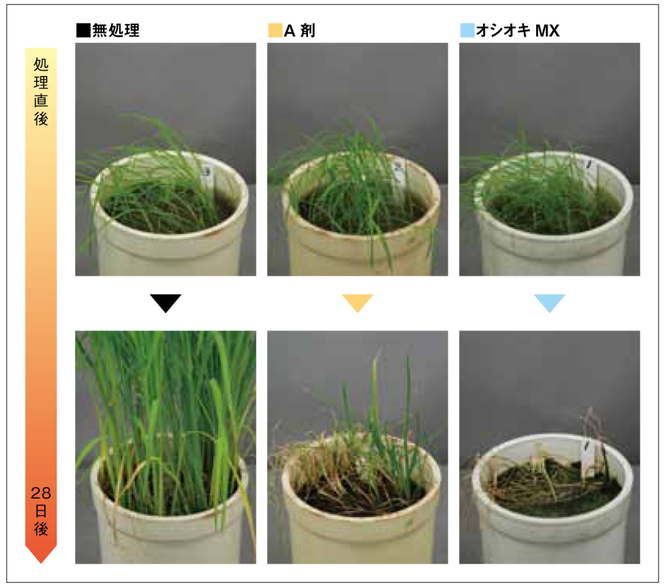
■三井化学アグロ株式会社

■表2　適用表（農林水産省 登録番号 23124号）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草およびマツバイ	移植後20日〜ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	砂壌土〜埴土	1kg／10a	1回	湛水散布	東北、関東・東山・東海の普通期および早期栽培地帯
	ホタルイ						
	ヘラオモダカ（北海道、東北）		壌土〜埴土				北海道
	ミズガヤツリ（北海道を除く）	移植後20日〜ノビエ3.5葉期 ただし、収穫45日前まで					近畿・中国・四国の普通期栽培地帯 九州の普通期および早期栽培地帯
	ウリカワ						
	ヒルムシロ						
	セリ						

※アジムスルフロンを含む農薬の総使用回数…1回　※ピリフタリドを含む農薬の総使用回数…2回以内　※メソトリオンを含む農薬の総使用回数…2回以内

■図2　SU抵抗性ホタルイに対する効果の確認について
（試験場所：三井化学アグロ農業化学研究所〈野洲〉）



■図3　ノビエの殺草発現について
（試験場所：三井化学アグロ農業化学研究所〈野洲〉）